

広報

# さなだまち

NO.380

2005

4

特集

心ひらいて

作品づくりに熱中。

横沢にある風の工房は、障害をもつ人のアート空間。主に知的ハンディを持つ人が昼間、絵や焼き物、書道などの活動をしています。焼き物にする粘土を、削る中村豪さん（上田市）は、じっと集中して作品づくりに熱中していました。

# 特集 心ひらいて

2月26日から、3月5日まで県内で開催された、知的障害をもつ人のスポーツの祭典。スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野(SO)。この大会に先立ち、2月28日から29日まで、真田町にはスイス選手団45人が、ホームステイ。町民との交流が行われた。そこには、言葉や、障害を越える心の交流があった。しかし、長野五輪、パラリンピック以来の国際的な交流を一過性のものとしてしまっていないだろうか。私たは、知的障害をもつ人を、どれほど理解しているだろうか。今月は、スイス選手団との心の交流を紹介。そして知的障害をもつ人への理解を深め、地域としてどうかわかっていくのか考えてみた。



2月24日に行われたトーチランの交流会で写真撮影をするスイス選手団。45人が真田町にホームステイした。



▲知的障害をもつアスリートと、国際法務執行者（警察官など）によるトーチラン。



◀沿道や、役場前の交流会場には、旗を振って応援する子どもたちや、観客であふれた。



▶トーチランの式典の後は、写真撮影の時間。選手や、ホームステイ家族、観客が混じった交流。

## SO トーチラン

アメリカの小さな町の警察署長が、SOの知名度向上と、資金集めのために、部下に呼びかけたのがSOのトーチラン（聖火リレー）の始まり。今では他の法務執行者（消防官、森林警備隊など）も参加する国際法務執行者トーチランとして、選手とチームを組んでアテネで採火された聖火をトーチランします。真田町では、2月24日に町内約1.6kmを走り、沿道で子どもたちなど多くの人が声援を送りました。



**● 出合い**  
到着した選手団とホストファミリーとの対面。自分がステイする家族の正面に座り、握手して、名前などを呼び合う出合いのとき。互いに少し緊張しているよう。



**● 交流**  
菅平中学校と、傍陽小学校では、交流会が行われた。写真は菅平中学校。習字で、選手の名前を書いているところ。このほかにも、お手玉、こま、折り紙を選手と生徒が一緒に行った。出来上がった作品は、選手にとっても思い出のお土産。

**● 選手団**  
到着後の交流会で、スイス選手団は、自己紹介と、歌を披露。ドイツ語、フランス語、イタリア語など複数の言語圏に分かれるスイス。選手団の歌も、3つの言語圏のグループに分かれて行われた。写真は、イタリア語圏のグループ。ギターに合わせての陽気な歌に会場から拍手。



# 心が通い合う感動

Special Olympics

## ホストタウンプログラム

ホストタウンプログラムは、SOの大会前に選手が、開催国にホームステイして、開催国の人と交流するスペシャルオリンピックスならではのプログラム。真田町には、スイス選手団45人が、17家庭にホームステイ。日本の家庭を体験するとともに、文化会館や、学校での交流会が行われました。



### ● ホームステイ

2月24日夜は、ホームステイ家庭での夕食。横尾の北沢功さんのお宅には、左写真右から、ドメニコさん、アランさん、ジュゼッペさんの3人が、ホームステイした。イタリア語を話す3人とは、身振り、手振り、「ありがとう」で気持ちは通じる。和室でのふとんも体験した3人。初めての日本の生活を楽しんだ。

スイス選手団45人が、真田町にホームステイしたのは、2月23日から25日の2泊3日。文化会館でのホストファミリーとの対面あとの交流会では、神輿や、太鼓、抹茶などは、日本の文化を体験。次第にうちとけたホストファミリーと一緒に家路につきました。

2日目は、菅平中学校と傍陽小学校で、交流会が行われ、子どもたちと一緒に給食も。午後、トーチラン参加後、習字や竹笛、アトフラッグを作る交流会が行われました。各家庭で団らんのときを過ごした選手は、最終日ホストファミリーとの別れを惜しみながら大会へと出発していきました。



### ● ボランティア

ホストタウンプログラムを支えたのが、約200人ほどのボランティア。準備から始まり、抹茶、太鼓、日本舞踊、手話ダンスを披露したり、運動コミュニケーション、習字、竹笛、アトフラッグを指導した人たち。また、交流会の手作り料理は、食生活改善推進協議会と商工会女性部が提供した。

### ● 別れ

わずかな期間でも、互いの気持ちが通い合ったホームステイ。選手も涙。家族も涙。選手の健闘を祈りつつの別れ。





# 家族の思い

ですね。そういうのを見ると親としては、ちよつとつらい。地域に友だちがいないと、帰ってきて遊べる場所がないですし」。長小の行事などで、2年生との交流はありますが、「できれば、給食と一緒に食べるか普通の活動と一緒に入れれば」と思うそうです。

## 真ちゃんと声をかけてくれれば

SOのホストファミリーを体験して、「話は分からないけど、スイスから来て、泊まってくれて、一緒にごはん食べて、一生に一度あるかないかの出会い。家族中うれしか

ったですね。笑うだけで、心が通じる感じでした」と話す北沢さん。ホームステイしたアランさんと、ドメニコさんは、ダウン症。アランさんは、金メダルを獲得。3月3日の信濃毎日新聞の1面に大きな写真が掲載されました。「希望の光という感じで、終わってからは、真吾はダウン症ですといえる感じ」と話す北沢さん。水泳が好きな真吾くんが将来「活躍の場を与えてあげられればいい」と夢も。

「普通にかかわってほしい、特別扱いするわけでもなく、見かけたら、真ちゃんと、声をかけてくれればいいな」と話してくれました。

## 一生かけて、じっくり構えて

徳増邦子さん（町原）は、娘のさやかさんが、自閉症の障害をもっています。スペシャルオリンピックスのホストタウンプログラムでは、ボランティアとして参加しました。「妊娠中毒症で、死産かもしれない」と言われましたが、誕生したのが、さやかさん。

「2歳前後で言葉が出ないのが苦になって」児童相談所、大病院と相談して、音は聞こえているが、言葉が理解できないと言われました。

「1歳ちよつとで、歩いたので、重度とは思っていません。言葉さえ出れば」と思っていました。上田の知的障害児通園施設いずみ園に、連れて行つたところ、「明日からでも来てください」と。

「自閉症の分野だと分かったんだと思います」と徳増さんは振り返ります。

自閉症は、その文字から、自分のからに閉じこもってしまう病気と誤解されがちですが、そうではありません。中枢神経に障害があり、目や耳からの情報を整理して意味あるものとして認知することができにくい障害。心の病でもなく、乳幼児期の育て方によるものでもありません。知的発達に遅れをもつ人が多いのですが、2割くらいの人には、知的発達の遅れはなく、記憶

力など、一部の能力が驚くほど優れている人もいます。

いずみ園の先生から、「お宅の場合は、重いですよ、はっきり言われて覚悟ができたのかな。それまでは、健康に近づけようと、あせっていたと思う。一生かけて、じっくり構えてやろうという気持ちになりました」と話します。

## 知ってもらっただけで、大きい

当時、上田に住み、いずみ園に通っていたさやかさん

## 自分が元気なうちに、徐々に手を離していききたい。

徳増邦子さん（町原）



とくます くにこ／娘のさやかさんを、できるだけ、外に出して、かかわった人をふやしたいという。

横沢にある風の工房で、刺繍をする徳増さやかさん。刺繍のモチーフは猫が多く、麻袋に毛糸で、ダイナミックに刺繍をする。



は、1年遅れて、上田の北小学校に入学します。「先生も理解があつて、6年生が障害児学級をサポートしてくれて、遊んでくれたり」したそうです。その後5年生のときに、本原小学校に転校。「そういう子が入つたことを、子どもや、その親ごさんに、知ってもらっているだけで、大きいことだと思う」と話す徳増さん。自閉症のさやかさんは、一見障害があるようには見えませんが、でも、聞こえているけど、話せない。行動も普通とは違う。「どこかに行つてしまつても、連れてきてもらえるかなと、思う」とその理由を話します。

「中学は、ついていくのは、無理かなと思つて」上田養護学校に、さやかさんは進学しました。普通学校は「同じにできるかな、行事はできるかな」という親としての緊張があります。しかし、養護学校は「そのままの、さやかでいいという安心感」はあつたと徳増さんは言います。

## 健常の子だったら、楽だったのかと

「自分が、死ぬときに、安

心して死ぬという状態にできるだけ、しておきたい」。さやかさんに障害があると分かつたときから、「常に頭にある」ことと話す徳増さん。「自分が元気なうちに、本人が居心地のいい場所を見つけて、徐々に手を離していきたい」。現在、日中は、風の工房で、刺繍や、書の活動をするさやかさんにとって、日中の活動の場はあります。生活の場もいずれば探したいのが希望。障害を持つ人が少人数で、暮らすグループホーム、ケアホームなどです。

「興味があれば、どこでも行つてしまふ。何をするのか、分からない。目が離せない」さやかさんの生活は、「大変が毎日なので、大変さが普通になってしまった」と話す徳増さん。

今まで育ててきての思いを何うと、「…いや応なしに、自分の人生の生きがいになつてしまつて。大変な娘をさすかつたけど、さやか無しは、考えられないですね。健常の子どもだったら、すくなく、楽だったのかと、考えることもありますが、それでもないのかもしれないと思いません」と話してくれました。

# 日

## 中の活動

### 風の工房 OIDEYOハウス

#### ユニークな 二つの施設

かりがね学園に通う知的障害をもつ人などが、日中に、アート活動をする場所が、横浜の風の工房。また、在宅や、グループホームの障害をもつ人が、日中、通ってアート活動をするかりがね福祉会の共同作業所が、小玉上郷沢にあるOIDEYOハウスです。

現在、風の工房は、12人ほど、OIDEYOハウスは、20人ほどのメンバーがいます。

風の工房は、始めてから16年。以前は、陶芸や、パン作りをして、販売。メンバーに還元する方向性を目指していました。しかし、それが難しいことから、余暇活動で行っていた絵や、書、焼き物などのアート活動をメインに変更。福祉関係者や、美術系の学生

までが視察に訪れる、現在のユニークな活動に至ります。平成13年にスタートしたOIDEYOハウスも同様にアート活動がメイン。一般的な障害者共同作業所は、単純作業をするところがほとんどの中、アート活動から生まれた作品をホスピスや、病院、公施設などに展示、各地で展示会を行い、Tシャツや、グッズも作るなど、ユニークな活動をする作業所です。

#### 障害があるからこそ表現できる

「メンバーが余暇時間に作る作品をアートという見方をしていたなかっただけ」とアートの活動への転換を話すのは、この二つの施設の代表、関孝之さん。「メンバーは、ストリートに、素直に表現する。私

たちのほうが、自分で、自由に表現できないですよ。よっぽど不自由だと気が付いたんです」と言います。「知的

#### 感動や、いやしを 与えてくれる

「福祉サービスマンや、ボランティアなど地域とのかかわりで、障害をかかえる人を支えることは、実はお互いさま」と話す関孝之さん。「人は高齢になれば、なんらかの障害をもつと思うんです。障害は、他

障害は、言葉で表現するのは、苦手な部分です。だからこそ、アートで表現することを、大事にしたい」と言います。



せき たかゆき/障害をもつ人はもともと、表現しようとする気持ちは、強いという。

関孝之さん（風の工房・OIDEYOハウス代表）  
支えられながら生きるけど、  
豊かなものがあることを伝えたい。

## 特集



### 心ひらいて

人事ではないし、だれもが通過すること。障害をかかえること、老いること、病むことを、人間として情けなくなっていくと考えるのではなく、支えられながら生きるんだけど、そこに豊かなものがあることを伝えたい。その一つの手段として、アートがあると思う。障害があるからこそ表現してしまうすごさや、楽しいこともあるじゃないかということを、多くの人に伝えていきたい」と話す関孝之さん。

「制度やしぐみがそろって、地域の人や、そうだが、この作品おもしろいな、この人おもしろいなと、なつてくれないと。障害があつてかわいそうだというレベルだと、いつまでたつても、重荷だという見方しかされません。でも、そんなことはないんです」と関孝之さんは言います。

現実に風の工房や、OIDEYOハウスの作品が、ホスピスに展示されて、患者や、その家族に、感動や、いやしを与えています。

そこには、「一方的に支えられるだけではなく、元氣や、ときにはいやしを与えられる大きな働きがあるんです」と話してくれました。



3月10日、本原小学校の4年生とOIDEYOハウスの交流が行われた。年に何回か行われる。

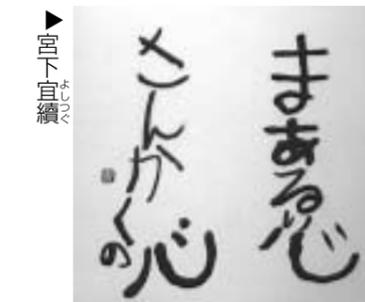
風の工房で作品を使ったおしゃべりで、実用的な画びょうを作るメンバー。



#### 風の工房とOIDEYOハウスのアートな作品たち



大塚正「ストーブ」



宮下 宜 續



中村 豪 ▶ 「豪地蔵」

# 地

## 域の中で生活

### グループホーム

#### 増える生活のかたち グループホーム

知的障害を持つ人たちが、少数で、地域の中で普通の生活をする施設がグループホーム。町内にも幾つかあります。かりがね福祉会のホーム統括責任者、竹井達郎さんに伺いました。

かりがね福祉会が町内で運営するグループホームは、4箇所。上田市内にも3箇所あり、合わせて7箇所です。どこも4、5人の少数で暮らす普通の家です。

実は、このうち2箇所は、この4月1日から新たに始まったもの。現在、長野県内のグループホームの数は、100に達していて、昨年度1年間で、30箇所が新たに立ちあがったものです。「少数の家庭的な空間で生活したいと

望む人が多いから」と竹井さんは、その理由を話します。障害者福祉が、現在の支援費制度に変わり、障害を持つ人が、自分でサービスを選ぶ制

度になった現在、「施設に、入所している人から、グループホームに移りたいという要望がある」ということで、かりがね福祉会では、今後、年1



たけい たつろう / 生活の場と日中活動の場を分けることが、これからの障害者福祉の基本的な方向という。

竹井達郎 (かりがね福祉会 ホーム統括責任者)

自分がなにかしないと機能しない。それが家族ですよ。

箇所ほどグループホームを作り、かりがね学園から、「年に2人ほどは、グループホームに移行したい」計画です。

#### 生活が自分の隣にある 自分の家

では、なぜグループホームが増えるのか？「利用者の要望があることです。でも、その背景にある思想は、ノーマライゼーションですね」と竹井さん。普通の生活を、障害をもつ人がおくる権利を可能な限り保障することです。

そして、普通の生活とは、住む場所と、日中活動の場所を分ける生活。「いわゆる、行ってきます。ただいま。の生活」と竹井さんは言います。

これまでの、施設に入所する生活は、「団体で旅行する生活が果てしなく続くようなもの」と話す竹井さん。「食事もお風呂も、寝るところも、だれかが用意してくれる」生活です。しかし、グループホームは、基本的に世話人はいますが、味噌汁をあたためるとか、後片付けしたり、自分で食事を作ったりもします。「4、5人ですから、自分がなにかしないと機能しない。

それが家族ですよ。グループホームには、生活が自分の隣にあるということです」と言います。

かりがね福祉会のグループホームでは、世話人は、朝と夕方にきて、夜10時には帰ります。グループホームの家賃も利用者が負担します。グループホームは、まさに、自分の家なのです。

#### 一軒の家として 見守って

曲尾にひなやまの家ができ、17年。「盆踊りや、町の運動会など、分け隔てなく声をかけていただいて、公民館掃除や、せんげ上げもやらせていただいで、1軒の家としてつきあっていただいている」と話す竹井さん。4月から始めた大畑のグループホームの大畑区への説明会でも、「内心、反対という声もでるかなと思っていたんですけど、全然なくて、円満にいいですよ」と、言っていたら、本当にうれしかったです」と言います。「地域で温かく見守っていたらいいのが、本人たちも一番楽なんだと思います」と話してくれました。



夕方6時30分ごろ、仕事など、それぞれの昼間の活動をしてきた仲間と楽しい夕食の時間。



曲尾のグループホーム尾澤ハイツで暮らす渡辺重雄さんは、昼間は、横沢の風の工房で絵を描くなどの活動をする。



「行ってきます！」朝、8時30分には、尾澤ハイツから出かける。

スペシャルオリンピックスで出会った  
スイスからの選手たちは、  
多くの感動、喜びを私たちに与えてくれた。  
障害をもつ人たちと、共に生きることが、  
だれもが、気持ちよく暮らせること……。

スペシャルオリンピックス  
のホストタウンプログラム実  
行委員長、また、かりがね学  
園から出向して、上小圏域障  
害者総合支援センター所長を  
務める小林彰さん(曲尾)に、  
今回のホストタウンプログラ  
ムで、得たもの、そして知的  
障害をもつ人と私たちが、ど  
うかわってあげたいのか、  
伺いました。

に接して、知的障害をもつ人  
のイメージが、変わったんじ  
やないかなと思う」と話す小  
林さん。

日本では、知的障害を持つ  
人は、どちらかというと、か  
わいそうな存在で、余計なお  
せっかいをしがち、と話す小  
林さんは、「選手は周りが、勝  
手になにかしようとする、と  
ノンと言つて断っていました。  
それは、自分でできることは、  
自分でやる。できないところ  
は、人によつてもらおう。人間  
としてあたり前のこと。それ  
が選手に接して分かったんじ  
やないかと思う」と言います。  
そして、「かわつた人は、

障害があっても、しっかりと  
生きている選手の明るさとか、  
魅力にひきつけられたと思つ  
と小林さん。

「選手は、結構障害の重い人  
もいました。でも、例えば毎  
日顔が洗えるとか、日々の地  
道な活動ができてくる人がア  
スリートとして来ていました。  
障害をもつ人が、色々なこと  
を身につけるには、意識して  
取り組まないと難しい。そう  
いう今日より明日と努力して、  
一歩前に進む選手の姿に、私  
たちが、接することができた。  
その感動がとても大きかった  
と思います」と小林さんは言  
います。

### 本当の意味の 自律と共生のかたち

「知的障害をもつ人と接す  
るのは大変ではないんだと、  
今回思ったと思う」と小林さ  
ん。「言葉が通じてもできな  
いのに、言葉が通じなくても  
できる。もっと楽に考えても  
いいんじゃないですか」と言  
います。

「余計なことをするのは、  
なく、困ったり、手助けして  
ほしいところをちよつとお手  
伝いしてあげるといふことは、  
障害をもつ人だけでなく、お  
年寄りや、全般に言えること  
と。「助けてと言われたとき

### 選手の姿に接して 大きな感動が

「ホームステイを受け入れ  
た家庭の方や、交流会に参加  
した方は、スイスの選手たち

に、助けてあげれば、いいわ  
けです。そうでないときは、  
関心をもって、気にかけてい  
れば」と言います。

そして、お金のかかるサー  
ビスを使って何でもやるので  
はなく、そうではないもので、  
みんなで支えることも大  
切と言います。

「気にかけて、何かあったら、  
声かけて、やって欲しいとい  
われたら、手伝つてあげる。  
そうなったときに、本当の意  
味の自律と共生のかたちにな  
っていくと思います」と小林  
さんは話します。

### 手助けしてほしいところを、 お手伝いしてあげるといふこと。

小林彰さん(上小圏域障害者総合支援センター所長)



こばやし あきら/今回、ス  
ペシャルオリンピックスのホ  
ストタウンプログラム実行委  
員長を務めた。曲尾区在住。

「例えば、地域に住んで、養  
護学校に通っているお子さん  
がいますよね。地域の行事に、  
ヘルパーを頼んで連れて行く  
だけじゃなくて、ぼくも行く  
から、一緒に行こうよと、地  
域の子どもに言ってもらえれ  
ば、うれしいわけですよ」と話  
す小林さん。

障害をもつ人が「居るのは  
知っていたけど、声をかけら  
れなかった。だけど、今回ス  
ペシャルオリンピックスを経  
験してみても、声をかけてみよ  
うとなれば、地域でみんなが、  
気持ちよく暮らせるんじやな  
いかと思います。そしてそう  
なればいいし、そうだったん  
じゃないかと思えます」と話  
してくれました。

### 編集室からひと言



### 心をひらいていけば、 気持ちは通じる。

SOの取材で、ホームステイ家庭に伺って  
写真を撮影する前に、なんと行って、選手の方  
に説明すればいいんだろう？と、考えていま  
した。イタリア語圏の選手の方でしたから、  
言葉は分かりません。知的障害もある方に、  
なんと行って家庭での様子を撮影させてくだ  
さいと言えいいのか。イタリア語のガイド  
ブックを持って、取材に伺うと、私の顔をみ  
るなり、選手の方は、「ありがと」と言っ  
てくれました。「こんにちは」の意味だとす  
ぐ分かりました。私は、その一言で、すごく  
うれしくなりました。撮影は、問題なくすみ、  
私が使った言葉は、イタリア語の「ありがと  
う」「グラツィエ」だけでした。

障害を持つ人と共に生きるとは、と難しく  
考えるよりも、互いに同じ心があれば、一つ  
の言葉だけでも通じ合う。言葉よりも、心を  
ひらいていることの方がずっと通じる。そう  
感じる瞬間でした。

冬が終わろうとする季節に行われたSOの種  
が芽吹き、やがて花ひらくように、静かにこ  
の地域に広がってほしいと思いました。

# 合併議案可決

## 合併に関する 4議案を提案

2月18日に、真田町、上田市、丸子町、武石村の合併協議を確認し、市町村間の約束として「合併協定書」が締結されました。

これを受け、真田町をはじめ上田市、丸子町、武石村の各市町村では、3月定例議会に次の合併に関する4議案を提案しました。

### ① 廃置分合議案

現在の真田町、上田市、丸子町、武石村を廃し、平成18年3月6日からその全地域を、新「上田市」とする内容です。

### ② 廃置分合に伴う財産処分に 関する議案

新「上田市」の設置に伴い、真田町、上田市、丸子町の財産は、すべて新「上田市」に引き継がれますが、武石村の財産については、その山林の一部を武石財産区として残り、その他の財産は、すべて新「上田市」に引き継がれるという内容です。

### ③ 廃置分合に伴う議会議員の 定数に関する議案

新「上田市」の設置に伴い、議会議員の定数を34人とする内容です。

### ④ 廃置分合に伴う農業委員会 委員の任期等に関する議案

新「上田市」の設置に伴い、農業委員会委員の選挙により選ばれた委員の中から、引き続き在職できる委員の数を40

人、その期間は平成18年7月19日までとする内容です。

## 4市町村 すべてで可決

3月9日、この4議案が議会で審議され、2人の議員から反対討論、5人の議員から賛成討論がありました。

その後、議案の採決があり、廃置分合議案については、賛成13、反対2の賛成多数で可決されました。

他の3議案については、全議員が賛成し全会一致で可決されました。

また、丸子町は3月3日、武石村は4日、上田市は9日に採決が行われ、4市町村すべての議会で合併関連議案が可決されました。

## 合併は、新しい 地域システムの構築

議会の所信表明で、町長は、次のように、新市への期待と住民参画を呼びかけました。

合併はゴールでなく、「生活快適都市」の実現に向けた新しいまちづくりのスタートです。あらゆる場面でさらに改革を進め、地域の自立と持続可能性を確かなものにする必要があります。自助・共助・公助の役割を理解し、人々が助け合っていく仕組みをつくりあげることで、地域の改革が進むと考えています。

これは、地域の課題に、住民が、単にその解決を行政に求めるだけでなく、住民自らが問題を提起し、議論を行い、主体的活動を通じて行政とのパートナーシップのもとで課題解決を目指す、住民・地域・企業・行政の相互理解と信頼に基づく協働の新しい地域システム構築でもあります。

3月9日、廃置分合議案は、賛成多数で、他3議案は全会一致で可決された。

## 合併のゆくえ ③

## 合併に向けた 今後の予定

4市町村で、合併関連議案に基づいた合併協議書を締結し、3月24日には、長野県知事に合併申請書を提出し、受理されました。

今後は、6月の長野県議会で議決されると、知事の決定を受けて、総務大臣へ届け出。総務大臣の告示が行われると、合併の効力が発生します。現在は、8月ごろに告示となる見込みです。

4市町村では、来年3月6日の合併に向け事務が進められていきます。また、合併協定書に盛り込まれました各種事務・事業の取り扱い等について、内容をより具体的ななものにし、住民生活に関わりの深い項目については、今後、町民の皆さんに分かりやすくお知らせしていきます。

## 合併への これまでの経過

- 平成13年 10月〜翌年4月 36集落で合併懇談会開催
- 平成14年 5月24日〜6月10日 市町村合併に関するアンケートを実施
- 合併の可否は、必要が最多の53%
- 上田市を含む広域合併が最多の53%
- 12月17日 明日の真田を考える1000人委員会設置
- 12月24日 任意合併協議会設置
- 平成15年 9月23日〜10月10日 36集落で合併懇談会開催
- 10月22日 合併の住民意向調査実施
- 「合併は必要・どちらかといえれば必要」39・0%
- 「合併は不必要・どちらかといえれば不必要」43・6%
- 「どちらともいえない」15・7%
- 平成16年 2月9日〜23日 18地区で合併懇談会開催

- 2月15日 市町村合併と自立を考えるリレーシンポジウム開催
- 3月31日 合併の住民意向調査実施
- 「合併は賛成」45・7%
- 「合併は反対」44・4%
- 「議会の決定にゆだねる」9・1%
- 6月17日 合併協議会設置
- 10月8日 4市町村住民公聴会開催
- 12月13日〜16日 4地区で合併懇談会開催
- 平成17年 1月11日〜28日 36集落で合併懇談会開催
- 1月30日 合併公開討論会開催
- 2月6日 「真田町の合併についての意思を問う住民投票」執行必要59・6%
- 必要40・4%
- 2月18日 合併協定書の締結
- 3月9日 廃置分合等合併関連4議案を議会議決
- 3月24日 県知事に合併申請書提出



3月3日から18日まで、平成17年第1回真田町議会定例会が開催されました。この議会では、平成17年度

の一般会計予算をはじめ、39件におよぶ案件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

# 新しいまちづくりへのスタートの年

## 町長所信表明(要旨)

### 合併に向けた具体的な準備に万全を

来年3月6日の新市スタートに向け、今後は組織機構の詳細や職員体制、条例等の整備、各種電算システムの統合業務など、より具体的で詳細な調整、準備に取り組みます。真田町の特性、個性を埋没させないよう職員には気概を持って戦略的に臨むよう、また、情報の開示についても、わかりやすく丁寧、かつ積極的に説明するよう指示しています。

新生「上田市」の素晴らしきスタートが切れますよう、

4市町村の信頼関係を更に深めながら、引き続き準備に万全を期して進めてまいりたいと考えています。

### 歳出を抑えた17年度予算

平成17年度の予算編成に当たりましては、引き続き歳出を抑制するとともに、各種事務事業の見直しあるいは精査を積極的に推進し、行政運営の効率化を図ることとしたところでありました。また、来年度中には合併を控えておりますことから、新規事業は出来る限り抑制し、合併に伴う各種電算システムの統合業務等、避けて通れない財政負担に備

えております。

しかし、こうした中にあっても、最優先事項であります、住民に身近な福祉、教育、安全・安心のための施策につきましては、十分に配慮しながら予算編成を行いました。

### 室内管弦楽コンサートを秋に

町民の皆さんが良質な音楽芸術に身近に触れる機会を提し、音楽に出合い、音楽を通し豊かな心を育む取り組みとして、フルメンパーによる室内管弦楽コンサートを秋に実施してまいりたいと計画しています。

このコンサートに先立ち、



イノシシなど有害鳥獣による農作物被害が、町内全域に広がっている。

春には、管弦楽四重奏による演奏会を真田中学校で開催し、子どもたちの感性を高める取り組みも行ないます。

### 有害鳥獣の防除施設設置を支援

イノシシをはじめとして、カモシカ、サルなどの有害鳥獣による農作物被害について

は、近年その被害が常態化するともに被害が町内全域におよび、その対策に大変苦慮しているところです。

新年度では、引き続き猟友会の皆様に駆除について更なるご協力をお願いするとともに、わなや檻による駆除、電牧柵等の防除施設設置の奨励と支援を行い、被害対策を実施してまいります。

### 菅平浄化センター19年度の供用開始予定

老朽化した菅平浄化センターの改築更新事業を引き続き進めてまいります。

新年度では、造成工事を継続して行い、新たな処理方式による汚水処理施設整備工事に着手いたします。

新たな浄化センターは、平成19年度内の供用開始を予定しています。

### 次世代育成支援行動計画策定

次世代育成支援対策推進法に基づき、地域の特性を活かした「真田町次世代育成支援行動計画」を3月末までに策定します。

この計画では、「やさしさ」とぬくもり満ちて育てよう



家庭も地域も行政も」を基本理念とし、家庭、地域、行政が一体となって、次世代の育成に取り組むとし、今後この計画に基づき全ての子どもと子育て家庭の支援施策を推進します。

### 可決された主な議案

合併関連議案(詳細は、16ページ)のほか、可決された主な議案です。

◇辺地総合整備計画の変更に  
ついて  
辺地債(起債)によって整備する、菅平の道路などの整備計画の一部を変更しました。

◇平成17年度の予算  
一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は、昨年より約2億2907万円減の87億9423万円となっています。

# 4月24日(日)は町長選挙

5月20日に任期が満了となる真田町長選挙は、4月19日(火)に告示され、24日(日)に投票が行われます。

町政を担う、私たちの代表を選ぶ大切な選挙です。棄権せず、あなたの大切な1票を投じましょう。

### 投票できる人

今回町長選挙に、選挙権がある人は次のとおりです。  
・投票日当日まで、真田町に住所がある人  
・満20歳以上の人(昭和60年4月25日までに生まれた人)  
・平成17年1月18日までに、真田町へ転入した人

### 投票できない人

・投票日までに町外へ転出した人  
・公民権の停止などで、選挙権がない人

### 期日前投票・不在者投票

4月20日から23日までの午前8時30分から午後8時まで、役場1階の町民ホールで期日前投票ができます。入場券をお持ちください。

また、県から指定されている施設や病院などに、入所や入院されている人は、そこで不在者投票ができます。

### 投票所はどこ？

前もって、投票所入場券を

お送りします。そこに書かれた投票所で、投票ができます。なお、4月1日以降に町内で転居した人(例…菅平から下原へ、入軽井沢から曲尾へなどの人)は、前の居住地の投票所になります。

※詳しくは、広報と一緒に全戸配布されるお知らせをご覧ください。

問い合わせ 真田町選挙管理委員会 有線2011  
☎72-2201





悪質商法部会は、1月に開催された消費生活展で、スクリーンを使って、悪質商法の手口などを発表した。

# 窓

消費生活だより⑫

私たちが、毎日安心して生活を営める地域環境が理想ですが、最近では悪質な詐欺が増加の傾向にあり、色々手口を変えて横行しています。昨年の「振込め詐欺」の被害額は、全国で約253億円を超え、増加する一方です。高齢者をターゲットにした、「振込め詐欺」は、孫や子と偽り、電話で交通事故や女性

とのトラブル、暴力団からの恐喝、借金トラブルなどの解決のため、示談金を至急、振り込ませようとする。とかく身内のこととなると、平常心を失いがちです。先ず落ち着いて対応し、絶対に慌てて、振込みをしないことです。また、身に覚えのない架空請求や、メール等が届いた場合、送り主への問い合わせは、絶

対せずに、無視しましょう。最近の手口では、昼間、留守番をしている高齢者のお宅を、無料点検や訪問販売を装って訪問し、家の中の様子や周囲を調べて帰り、後日、空き巣泥棒に入るといふものもあります。このような被害の情報や、家族など、特に高齢者や子ども、近隣で話題にして、見知らぬ訪問者には玄関戸を開けない、家族のことを話さない、家の中においても玄関の鍵は、かけておくなどして、被害に遭わないように、皆で用心しましょう。

悪質商法部会

## 悪質、巧妙な手口の詐欺にご用心！

# クッキング

No.101

## かしわもち

(30個分の材料)

米の粉	500g
砂糖	大さじ3
お湯	500cc
片栗粉	適量
かしわの葉	適量
あんこ	適量



子どもの健やかな成長を祈って作ります。  
武捨裕子さん (中組)

### (つくり方)

- ①米の粉に砂糖を入れ、お湯500ccを目安に、加減をみながら、徐々に加え、よくこねます。(耳たぶくらいのかたさになるように)
- ②①を適当な大きさにちぎり、20分くらい蒸し器で蒸します。
- ③蒸しあがったら、水を入れたボウルの中へ蒸し布ごと入れ、少し冷まします。
- ④③を別のボウルにとり、よくこねて、のし板にとり、めん棒で伸ばします。
- ⑤④から型に抜き、あんこを入れて、かしわの葉で包み、15分くらい蒸してできあがり。





## あの人を訪ねて ⑥7

もらってくれる人がいるから、私もその人にいかされているということだよね。

堀内信孝さん（三島平）

スペシャルオリンピックスのホストタウンプログラムで、スイス選手団に竹細工をプレゼントした。

ほりうち のぶたか●自分で建てた三島平の作業場で話してくれた。竹細工以外にも陶芸、彫刻、紙芝居など、様々な作品を作る75歳。

スペシャルオリンピックスのホストタウンプログラムで真田町にホームステイしたスイス選手団に竹で作った地蔵人形をプレゼントしたり、交流会で竹笛づくりを指導した堀内信孝さんを訪ねました。

堀内さんは、毎年秋に行われる福祉のイベント「ふれあい広場」で、竹細工のおもちゃ作りコーナーも続け、訪れた子どもたちにも大人気です。

竹細工を始めて13年ほどになる堀内さん。「今、金さえ出せばなんでも手に入るという考え方になっ

まって、心が寂しくなってしまうんだ。手作りでやるとうんと手間がかかるし、大勢の人が集まって出来ることだし、人間つうのは、大勢じゃなきゃいけないしな。だから手作りというのをこれからやっていかなきゃなら、今の世の中ずうっーとうまくいかないじゃないかな。昔みたいに、なつて欲しいなと思つてな」と始めた気持ちを話します。

スイス選手団にプレゼントした地蔵の人形は、竹の節部分を地蔵の合わせた手にして、胴体を作り、竹を丸く磨き上げた地蔵の顔に、筆でやさしい顔が描かれています。これは、以前出会った知的障害をもつ子どものお母さんの姿から、子を思う母の気持ちをイメージして作ったそうです。75歳になる堀内さんが作品づくりをするのは、自分で建てた山間の作業場。そこには竹細工のほかに、彫刻や、陶芸、紙芝居などの作品があり、その技の多彩さに驚かされます。作品作りのアイデアや、きっかけ

は、人とのつながりや、材料に触っていて、ふっと出てくるそうで、「仲間がたくさんいるということ、これが人間生きていくうえで、一番じゃないかなと思つてね。それを原点に、やっている」と話します。

夏場は、作業場の周囲に広がる畑を耕しながら、作品も作る堀内さん。「ストレスの解消にしているから、休みなく動いているけど、気持ちはうんと休まってるじゃないかな。手を動かすのは健康のためにも一番いいじゃないかと思つて」。

作業場には、近所の子どももよく寄っていくそうで、竹細工の作品をあげると、「喜んで持つていくその姿がよくてね」と顔をほころばす堀内さん。スイス選手団の壮行会では、竹笛を使って吹く、「ふるさと」や、「蛍の光」で、言葉を越えた感動を、スイス選手団にも与えました。作品を「もらってくれる人がいるから、私もその人にいかされていくということだよ」と話してくれました。

## 「桜のコンサート」開催のお知らせ

わが国のチェリストを代表する寺井つねひろ氏をお迎えし、真田中学校さくらホールを会場に「さくら桜コンサート」を開催します。

奏者は、寺井氏を含むラディッシュ・コンソート4名のメンバーです。満開の桜を借景に、洗練された室内楽の夕べをお楽しみください。

「やぐら」など、日本の歌曲なども取り入れ、皆さまに親しみやすいプログラムを心がけています。詳しくは、後日お配りする予定のチラシをご覧ください。

日時 4月20日(水)午後7時～(開場：午後6時30分)

会場 真田中学校 さくらホール  
入場料 無料

その他 お席に限りがありますので、当日は午後6時から整理券を発売させていただきますが、会場の都合により入場いただけない場合には、ご容赦ください。

## 教育相談のお知らせ

子どもたちや保護者の皆さんが抱える、教育に関する問題や悩みの解決のお手伝いをするため、教育相談を実施します。相談には教育委員や事務局職員などがあたり、内容については秘密が厳守されます。相談を希望される方は、開催日の1週間前

## 「人権を守る町民の集い」が開催されました

2月20日(日)に、「真田町人権を守る町民の集い」が開催されました。前半は、大塚教育長の基調報告に続き、町内小・中学生10名が、人権啓発に関する作文と標語を発表しました。

作文の内容は、アイマスク体験をしたときの感想を書きとめたものや、友だちを思いやることの大切さ、クラスをよくしていくためには何が必要なのか、など、それぞれがしっかりとした視点でまとめられており、心に残る発表となりました。

後半は、ピアノストでありバリトン歌手でもある北田康広さんの、「ことりがそらを」と題したトーク&コンサートを開きました。

北田さんは、全く目が見えないというハンディキャップを乗り越えて、ご自身の目標に向かってまっすぐに歩いて来られた人です。

北田さんの「つよさとやさしさ」にあふれた歌声と澄んだピアノの音色は、参加された皆さんの胸に深く響くものがあったようです。

「人権を守る」と言うとき、たいへん堅苦しい響きがありますが、「人が人を思いやることで守られる人間のやさしさや尊厳のこと」という言葉に置き換えてみると、ずっと分かりやすくなると思います。

までに、お申し込みください。  
日時 4月23日(土)午前9時～12時  
会場 真田町文化会館会議室  
問い合わせ・申し込み先  
学校教育係 有線2043  
☎72-2655

## 大会結果

### 競技スキー教室 タイムレース大会

3月13日、バインビークオオマツスキー場で競技スキー教室の小・中学生約50人が参加し、タイムレース大会を開催しました。大会当日、子どもたちは、1月4日から始まった教室で練習した成果を、精一杯出し切ってコースを滑っていました。



表彰を受ける子どもたち

小学3・4年女子の部  
第1位 工藤 栞那(本原小)  
第2位 金井 美穂(長小)

第3位 高寺 智里(本原小)

小学3・4年男子の部

第1位 小宮山 涼(長小)

第2位 赤岡 将吾(本原小)

第3位 重倉 啓明(本原小)

小学5・6年女子の部

第1位 斉藤 綾香(本原小)

第2位 工藤 祥那(本原小)

小学5・6年男子の部

第1位 塩崎 貴大(本原小)

第2位 坂口 達哉(傍陽小)

第3位 一本鎗成礼(本原小)

中学生女子の部

第1位 飯塚 愛実(真田中)

第2位 小宮山加奈(真田中)

第3位 坂口 祐紀(真田中)

### シュナイダー記念 スキー大会

第46回、菅平シュナイダー記念スキー大会が2月19日、20日のノルディックシリーズと3月9日から12日のアルペンシリーズに分けて行なわれました。

県内外から延べ約800人が出場し、日ごろの練習の成果を競い合いました。

真田町関係選手の主な成績は、次のとおりです。

ノルディックシリーズ  
《スペシャルジャンプ》  
小学3・4年の部  
第2位 酒井 雅俊(菅平小)

《コンバインド》

小学生3・4年の部

第3位 酒井 雅俊(菅平小)

小学生5・6年の部

第1位 柴草 陽祐(菅平小)

第2位 伝田 翁玖(菅平小)

アルペンシリーズ

《大回転一般》

高校生男子の部

第2位 正木 大祐(上田千曲)

中学生男子の部

第2位 瀧川 翔(菅平中)

第3位 伊藤 陸(菅平中)

中学生・高校生女子の部

第1位 大倉 友代(菅平中)

第2位 真田 ひばり(菅平中)

第3位 鷲巢 直子(上田西)

小学生5・6年女子の部

第1位 蓮見 小奈津(菅平小)

小学生3・4年男子の部

第1位 宮崎 優也(菅平小)

### 分館対抗町民卓球大会

3月6日、町民体育館で第28回分館対抗町民卓球大会が行われました。今年は25分館、31チームが参加し8ブロックに分かれて手に汗にぎる熱戦が繰り広げられました。結果は、次のとおりです。

優勝 下原  
準優勝 萩A  
第3位 中原  
第3位 大畑

◆「知らなかった野菜のおいしさに出会える72の方法」

平野由希子(PHP研究所)

◆「ゆう／夕」

谷川俊太郎+吉村和敏(アリス館)

◆書の絵本「月人石」乾千恵/書・

谷川俊太郎/文(福音館書店)

◆「パーフェクト・コピー」アンド

レアス・エシユバツハ(ポプラ社)

督促のハガキが届いたら、今いちど本を探してみてください

書名やサイズは、町の図書館にお問い合わせください。返却していただかないと、いつまでもハガキが届き、データも消えません。探しても見つからない場合は図書館へご相談ください。

みんなの本を大切にしましょう。

## 4月の図書館だより

お知らせ

4月1日(金)は、開館しますが、システム年度更新のため、貸出・返却・予約はできません。閲覧のみのご利用になりますので、ご協力をお願いします。

今月のお話し広場

日時 4月16日(土)午前10時～

場所 児童図書室

今月の休館日

・月曜定例休館

4日(月)／11日(月)／18日(月)

／25日(月)

・祝日・月末整理のための休館

28日(木)／29日(金)

◆「つくも神」伊藤遊(ポプラ社)

タルカメラの使いこなしを学ぶ講座、町内外の山城をめぐって歩く講座など、多彩な内容となっております。

詳しくはこの広報と一緒に各家庭にお配りするご案内「平成17年度真田町生涯学習の教室へようこそ」をご覧ください、お気に入りの講座に申し込みください。

### 通学合宿を実施します

今年度は青少年向けの教室とともに通学合宿の実施を計画しています。文化会館で、共同生活や体験活動

## 生涯学習の教室に参加してみませんか

町の公民館、教育委員会では、新年度の生涯学習教室の計画を立てました。

今年度は、信州大学や長野野大、筑波大学菅平高原実験センターなどのご協力もいただき、各大学のキャンパスや実験センターを会場に実施する講座もあります。

大人が楽しめるおもしろ科学の講座や、一般に普及が進んだデジ



北田さんの生の歌声とピアノの音色に感動を与えていただきました。

子どもたちの発表も北田さんのコンサートも、この「人権を守るつよさが大切だ」という根つこの部分でつながっていたのではないかと、そんなことを考えさせられた今年の集会以した。



## Information

### 犬のしつけ方教室 参加者募集!

**参加資格** 次の条件を満たす犬  
①4ヶ月から概ね1年未満の犬  
②狂犬病予防法による登録及び注射をすませている犬  
③ジステンパー、伝染性肝炎、パルボ等のワクチン接種済である犬  
**開催日時・場所** 学科講習 4月16日(土)、午後1時30分～3時30分、上田消費生活センター会議室  
**実技訓練** 4月23日(土)、5月7日(土)、21日(土)、6月4日(土)、18日(土) 時間はいずれも午後1時30分～3時30分、上田合同庁舎駐車場  
**内容** 学科講習 犬の本能・習性・生理、正しい飼育管理、病気の知識と予防など  
**実技訓練** 基本的な服従訓練の仕

方、横について歩く、横に座らせる、伏せ・待てなど  
※申し込み方法、参加費等については、4月15日(金)までに問い合わせください。  
**問い合わせ** 上田保健所内 動物愛護会上小支部 ☎25-7153

### 緑のまつりに お越しく下さい

緑化木の無償はん布や、花木、苗木の展示即売会、そば、野菜、山菜等を販売します。無償はん布は午前11時からと、午後1時から2回です。数に限りがありますので、お早めにご来場ください。  
この日から直売所「新鮮市」もオープンです。  
**日時** 4月23日(土) 午前9時30分～

30分～11時10分  
4月12日(火)  
傍陽村役場跡地(傍陽小東側)  
午前9時～9時30分  
本原担い手センター 午前9時40分～10時20分  
真田公民館 午前10時30分～11時  
4月13日(水)  
下原公民館 午前9時～9時20分  
大畑公民館 午前9時30分～9時50分  
町原公民館 10時～10時20分  
竹室公民館 午前10時30分～10時50分  
戸沢公民館 午前11時～11時20分  
4月14日(木)  
入軽井沢公民館 午前9時～9時20分  
西部コミュニティセンター 午前9時30分～9時50分

**場所** 十勇士の郷「新鮮市」(ゆきむら夢工房となり)  
**問い合わせ** 農林係  
有線2024 ☎72-4330

### 座禅で気合だあ! お茶会だあ～!

NPO法人遊び塾のイベントです。真田氏ゆかりの寺で親子の、座禅、お茶会、花見会を開きます。  
**日時** 4月23日(土) 午前10時～午後3時  
**場所** 長谷寺(真田)  
**参加費** 500円(一人)  
**持ち物** お弁当、水筒、敷物  
申し込み、集合場所等は、問い合わせください。  
**問い合わせ** NPO法人遊び塾  
☎72-3800  
携帯090-2207-7854

### いずみ幼稚園 ひよっこ教室会員募集

1、2歳児からの未就園のお子さんとお母さんを対象にした、ひ

曲尾公民館 午前10時～10時30分  
荒井公民館 午前10時40分～11時10分  
4月15日(金)  
横沢公民館 午前9時～9時20分  
大日向公民館 午前9時30分～9時50分  
渋沢公民館 午前10時～10時10分  
菅平リゾートセンター 午前10時40分～11時10分  
4月16日(土)  
傍陽村役場跡地(傍陽小東側) 9時～9時20分  
真田町役場前駐車場 午前9時30分～10時10分  
本原担い手センター 午前10時20分～10時40分  
**問い合わせ** 生活環境係  
有線2046 ☎72-2204

よっこ教室の会員を募集します。  
**期間** 4月18日(月/開講式)～平成18年3月まで  
**日時** 月曜日(土曜日の場合もあります) 午前10時～11時30分  
**内容** 親子で楽しく遊べるリトミックや製作などをしたり、人形劇、パネルシアター、ミニ音楽会などを楽しみます。子どもも、お母さんも親しいお友だちづくりをしましょう。  
**費用** 月額2,000円(月3回)  
**問い合わせ** いずみ幼稚園  
有線3798 ☎72-2262

### たんぼぼ文庫の 会員募集

いま、子育て中の方、たんぼぼ文庫に入会して、お子さんと一緒に本に親しみ楽しみませんか。  
各地区の班毎に2、3週間に5、6冊の本を各家庭に回覧して楽しんでいます。  
蔵書数1420冊、赤ちゃん絵本から、児童書までたくさんの良書がそろっています。大人にとっても昔読んだ懐かしい本を手にすることができるかもしれませんよ。  
年会費300円で、入会は随時受け付けています。  
**問い合わせ**  
たんぼぼ文庫会長 小宮山  
有線3182 ☎72-3563

### お忘れなく 労働保険の年度更新

労働保険の申告・納付は4月1日から5月20日までの間に済ませてください。  
**問い合わせ** 上田労働基準監督署  
☎22-0338

### 電源立地地域対策 交付金事業で出来ました

水力発電施設のある市町村に交

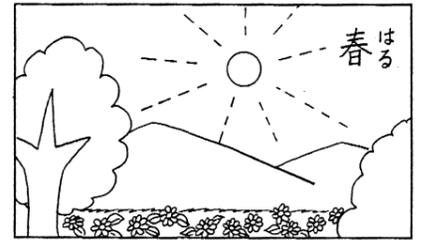
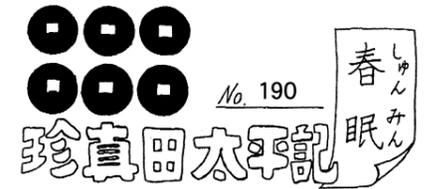
付される「電源立地地域対策交付金」により、大日向和熊配水池の浄水施設整備を行いました。  
これにより、安定して清浄な水が供給されます。  
**問い合わせ** 上水道係  
有線2071 ☎72-4253

### 上田創造館の 4月の催し

**太陽の黒点を観察しよう** 4月9日(土) 午前10時～11時、参加費無料  
**上小美術展** 4月17日(日)～24日(日) 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)、入場料/大人350円・学生200円・小中学生・身障者・75歳以上無料  
上小地域で作品を公募し、審査会で入選した作品を展示します。  
**プラ板のアクセサリーづくり** 4月23日(土) 午前10時～11時30分、対象/小中学生とその保護者、参加費/無料、先着24人、参加締め切り/4月20日(水)、プラ板でキーホルダーやペンダント等のアクセサリーを作ります。

### 乳幼児健康診査と 予防接種

(4月6日～5月5日)  
**3歳児健診** 4月12日(火) 午後1時15分～1時40分受付  
**場所**/保健センター  
対象/13年12月～14年2月生まれ  
**乳児健診** 4月22日(金) 午後1時15分～1時40分受付  
**場所**/保健センター  
対象/16年6・9・12月生まれ  
**風しん** 4月  
**場所**/本原医院・小林医院  
対象/15年7～12月生まれ、7歳6ヶ月未満の未接種児  
**日本脳炎** 5月  
**場所**/本原医院・小林医院



対象/初回は13年4月～14年3月生まれ、追加は12年4月～13年3月生まれ、7歳6ヶ月未満の未接種児  
**問い合わせ** 保健センター  
有線2053 ☎72-9007

### 行政相談、心配ごと相談

**日時** 4月25日(月) 午前9時～正午  
**場所** 福祉センター  
**問い合わせ** 行政係  
有線2011 ☎72-2201  
または社会福祉協議会  
有線2091 ☎72-2998



## 国保のマル学保険証の更新手続きをお忘れなく

就学のため扶養を受けながら、親元を離れて生活する場合、国民健康保険では、個別に分けたマル学の保険証が発行されます。

この手続きには、平成17年度の在学証明書と印鑑、親元の保険証が必要です。マル学保険証が必要な間は、毎年4月1日以降の在学証明書をお持ちいただき、更新手続きをお願いします。

**問い合わせ** 国保年金係  
有線2058 ☎72-0154

## 厚生年金・国民年金の相談が上田でできます

小諸社会保険事務所では、厚生年金・国民年金について、毎日(土日祝日・年末年始を除く)、上田年金相談室として、出張相談を行っています。お気軽にご利用ください。

**場所** 上田駅前ビル『パレオ』4階

**受付時間**：午前9時から午後4時30分

**相談の際に持参いただくもの**

- ・本人及び配偶者の年金手帳、基礎年金番号通知
- ・年金受給者の方は年金証書
- ・印鑑

・本人以外の方が相談に訪れる場合は委任状

電話による相談はご遠慮ください。

**問い合わせ** 小諸社会保険事務所  
☎0267-22-1080

## 固定資産(土地・家屋)の縦覧ができます

平成17年度の固定資産税(土地・家屋)の評価内容を確認するための縦覧ができます。

**期間** 4月1日(金)～5月31日(火)まで(土、日、祝日は除きます)

**場所** 役場1階税務係窓口

**縦覧できる方** 固定資産税の納税者または、その代理人

**問い合わせ** 税務係  
有線2041 ☎72-0154

## 有害鳥獣防除施設設置補助金の補助率が変わります

有害鳥獣防除施設設置補助金の補助率等が4月1日から次のように変わります。

**補助率** 5分の2

**補助対象** 農林産物を生産する農地等及び営業を目的とするグラウンド並びにこれに類する施設へ設置する場合の資材購入費

**補助限度額** 7万円

**問い合わせ** 農林係  
有線2024 ☎72-4330

## 特別障害給付金が4月1日から始まります

国民年金制度の発展過程で、生じた特別な事情により、障害基礎年金等を受給していない障害者の方を対象に福祉の措置として、特別障害給付制度が創設されました。

## Information

**対象者**

①平成3年3月以前の国民年金任意加入対象であった学生。

②昭和61年3月以前の国民年金任意加入対象であった被用者(厚生年金、共済組合等の加入者)の配偶者。

①か②であって、国民年金に任意加入していなかった期間内に初診日があり、現在、障害基礎年金1、2級相当の障害に該当する方。

**支給額** 1級月額5万円、2級月額4万円で、毎年度自動物価スライドします。

※障害認定等の審査、支給事務は、社会保険事務局で行います。

※給付金は、請求の翌月分から支給されますが、請求が遅れた場合に、遡って支給できません。必要な書類がすべてそろわない場合でも、まずは、4月中旬に障害者支援係に請求書を提出してください。

**問い合わせ** 障害者支援係  
有線2022 ☎72-2203

## 出生・死亡・婚姻など届出時の職業等の記入にご協力ください

厚生労働省が毎年行っている人口動態調査は、皆さんからの出生・死亡・死産・婚姻・離婚の各届書をもとに、出生や死亡の状況などを調べ、今後の保健福祉の向上のための統計資料として活用される調査です。

この調査は、国勢調査の行われる年には、届書に職業の記入もお願いしています。死亡届には、併せて産業の記入もお願いしています。今年は、国勢調査の年ですの

で、記入にご協力をお願いします。  
**問い合わせ** 町民係  
有線2002 ☎72-0154

## 資源循環型施設建設候補地選定の委員を募集

上田地域広域連合では、現在、管理する上田、東部、丸子のクリーンセンターを統合し、環境教育機能や啓発機能をもつリサイクルプラザと、併せて整備する資源循環型施設の計画を進めています。

この施設の建設候補地の選定について、住民皆さんの意見を反映するため、次のとおり住民代表の委員を募集します。

**応募資格** ・上田地域に在住し、会議に出席できる方。(会議は月1回程度、平日の昼間を予定)  
・委員会の目的に沿って、公平、公正な立場で意見を述べていただける方。

**応募方法** 応募用紙に記入の上、応募の動機やごみ問題について考えていることなど、800字以内にまとめた「作文」(様式自由)を添えて提出してください。応募用紙は、上田地域広域連合、広域連合ホームページ (<http://www.area.ueda.nagano.jp>)、生活環境係にあります。提出は、上田地域広域連合、広域連合Eメール([koiki@area.ueda.nagano.jp](mailto:koiki@area.ueda.nagano.jp))、生活環境係で受け付けます。

**応募締め切り** 4月20日(水)  
**面接** 4月27日(水)に面接を行う予定です。

**問い合わせ** 上田地域広域連合ごみ処理広域化推進室  
☎23-2104

## 4月6日から15日まで春の全国交通安全運動

スローガン

よくみてね！ いっぱいのぼしたもみじで

**運動の重点**

○自転車利用者のマナー向上

○シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

○二輪車の安全利用の推進

**問い合わせ** 行政係  
有線2011 ☎72-2201

## 4月1日付けで役場職員の人事異動

( )内は前職

●総務課  
財政係 堀内由美(庶務係)

●情報政策課  
情報有線係 堀内正典(下水道係)

●上下水道課  
下水道係 佐藤宏樹(国保年金係)

下水道係 降旗友樹(丸子町)

庶務係 林理恵(総務課付)

●町民税務課  
国保年金係 桜井浩(高齢者支援係)

納税管理係 清水保(丸子町派遣)

税務係 武捨千夏(町民係)

田村浩志(長野県)

大矢里加子(上田市)

●福祉健康課  
健康推進係長 武捨満子(障害者支援係長)

障害者支援係長 橋詰京子(健康推進係長)

高齢者支援係 堀内孝子(農林係)

健康推進係 伊藤岳彦(税務係)

さなだ保育園

高木さかえ(上田市派遣)

小野塚千鶴子(上田市)

内海純子(丸子町)

すがだいら保育園 大井由香(さなだ保育園)

●観光商工課  
生活環境係長 大久保晴男(国土調査係長)

観光商工係 小泉文明(上田市)

●農林課

農林係 若林聡子(福祉係)  
農村整備係 緑川浩良(丸子町)

●消防防災課

課長 宮脇寛夫(庶務係第一係長)

庶務係長 山崎千賀雄(警防係長)

警防係長 一之瀬忠夫(予防係第二係長)

警防係 柳沢雄二(予防係)

予防係第二係長 柳沢陽一(庶務係第二係長)

予防係 塩沢憲治(情報有線係)

救急係 大滝祐治(上田中央消防署)

●建設課  
管理国土調査係長 一本鎗正弘(生活環境係長)

●教育委員会  
生涯学習係 和根崎剛(和田村派遣)

スポーツ振興係 内海誠一(観光商工係)

●会計室  
清水しのぶ(財政係)

◆派遣  
長野県 宮島剛(スポーツ振興係)

上田市 伝田均(税務係)

上田市 木嶋幸男(健康推進係)

上田市 小林豊子(すがだいら保育園)

丸子町 茅野俊幸(農村整備係)

丸子町 武捨義夫(生涯学習係)

丸子町 久保田千恵子(さなだ保育園)

◆県・他市村からの派遣終了(3月31日付)

長野県 宮坂俊一(納税管理係)

上田市 千野美恵子(さなだ保育園)

青木村 高柳則男(下水道係)

和田村 佐々木誉(国土調査係)

◆組織変更  
・合併対策室を合併準備室に係名を改名

・管理係と国土調査係を係統合

◇退職した職員(3月31日付)

小林稔(消防防災課長)

川上俊三(菅平小中学校)

# ディスポーザーは、排水処理槽を設置しないと使用できません。

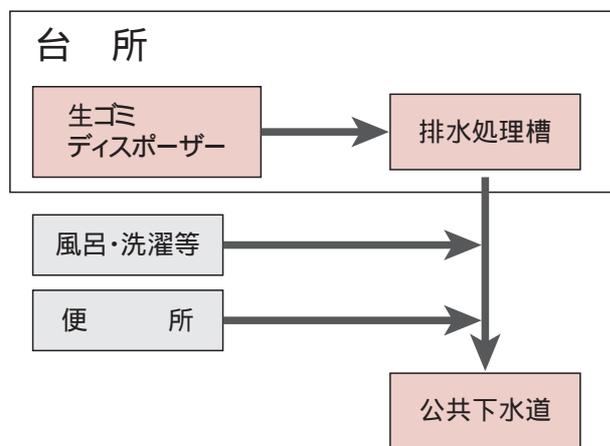
ディスポーザーとは、台所から出る生ごみを砕いて水と一っしょに下水道に流す機械です。

町の下水道条例では、ディスポーザーを使用しようとする場合は、基準に適合した排水処理槽を、別に設置しなければ使用できないことになっています。

粉碎した生ごみを流すと、下水管のまわりに生ごみが付着して、ぬめりで管がつまり、悪臭のもとになるなどの、影響が出ます。

また、処理場に流入する水質が悪化し、汚泥が増加するなど、下水処理への負担が大きくなります。

排水処理槽の設置には多額な費用と維持管理も必要になります。設置する際には、下水道係へ事前に申請してください。



## 合併浄化槽設置の補助金が変わります

平成17年4月から、合併浄化槽を設置する際の、補助金額が変更になります。この補助金制度を活用し、早期水洗化を進めましょう。

### 補助金限度額

5人槽	375,000円
6～7人槽	438,000円
8～10人槽	555,000円

### 補助対象地区

菅平の一部と大日向、角間、十林寺、穴沢、三島平、小玉上郷沢、赤井および、地形により下水の集合処理が出来ない所

問い合わせ 上下水道課

有線2072 ☎72-4253

## さなだ ゆうほう番組表 (4/6～5/5)

放送時間 夕方 6時30分～ (再放送は翌朝6時～) となります。

おはなしの世界へは、夕方5時30分～

日	曜	番組名	出演者
7	木	駐在所だより	／真田駐在所 有賀所長
9	土	おはなしの世界へ「ろくべえ まってろよ」	／おとぎの会 鎌田 洋子さん
12	火	身近な税の話「確定申告が間違っていたとき」	／上田税務署
13	水	図書館の窓	／図書館
14	木	さなだ通信	／町内から
16	土	おはなしの世界へ「おおかみのまゆげ」	／おとぎの会 海瀬 徳子さん
17	日	みんなの食生活「日本人の食事摂取基準と食生活」	／保健センター山崎栄養士
19	火	みんなの健康「高齢者サービスについて」	／高齢者支援係 神林 信義
21	木	農業アドバイス	／真田営農センター
23	土	おはなしの世界へ「あのととき好きになったよ」	／おとぎの会 荒木 克子さん
26	火	生活のしおり	／JA長支所増田生活指導員
28	木	公民館だより	／生涯学習係
30	土	おはなしの世界へ「米だしえびす様」	／おとぎの会 小林 つた江さん
3	火	庭木の管理	／真田町造園協同組合 堀内久夫さん
5	木	生活環境係から	／生活環境係

戸籍の窓

ご両親からのメッセージ  
健康で元気に育ってね!



関彩花ちゃんとお母さん、お姉ちゃん

2月届け出分

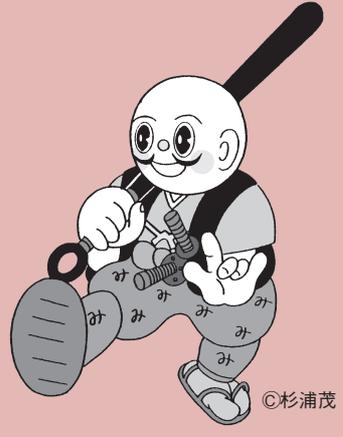
真田町イメージキャラクター  
三好清海入道

♡いつまでもお幸せに

(小山 俊行 長野 市  
宮腰まゆみ 荒 井)

☆お誕生おめでとう

- 江幡 瑞己 (隆之 大 畑  
真由美)
- 河合 琉誠 (俊樹 大 畑  
早苗)
- 坂口 稀星 (千学 下 原  
恵)
- バンデェ 愛来 (プレムラジュ 大 畑  
亜耶)
- 関 彩花 (将勝 岡 保  
奈津子)
- 荻原 康生 (卓也 小玉上郷沢  
久美子)



納税と使用料

- 5月2日(月)
- ・水道料金
  - ・下水道・農集排料金
  - ・保育料
  - ・町営住宅使用料
  - ・ふれあいの館利用料
  - ・在宅支援サービス利用料

月曜日は午後7時まで!  
役場延長窓口(住民票・印鑑  
証明・所得証明・納税証明)  
をご利用ください。

□ごめいふくをお祈りします

- 裕沢 靖 35 大日向
- 滝原 藤重 88 下原
- 中村ひさよ 86 萩
- 塚田くに子 90 横尾
- 関谷 高一 89 萩
- 中村なかじ 97 中原
- 武捨 幸 73 中組
- 小市八重子 80 大畑
- 宮下きくゑ 87 中 原

花粉症予防

昨年夏の猛暑のおかげで、今年はスギとヒノキの花粉が大量飛散の予感。花粉症の4大症状はくしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみで、一見風邪かな?と思うことが花粉症の症状だったりします。早めの予防対策が必要です。

花粉飛散情報をチェックし、飛散量の多い日には、午後の外出をなるべく控え、外出時にはマスクやメガネを着用。マスクは中に湿らせたガーゼをはさむと効果がアップします。通常のメガネでも目に入る花粉量は半分以下におさえられます。毛織物の衣類は花粉が付着しやすく、見えなくとも必ず付いているので、外で洋服・髪などをよく払い、家に入りましょう。日常的には、バランスの良い食事や睡眠など規則正しい生活を送ることが、身体の抵抗力をつけ、正常な免疫機能を保つために重要です。

症状に悩まされている場合は、早くに診察・治療を受けましょう。現在、治療の中心は薬物療法で、約5~6割の人がほとんど症状もなく暮らすことが可能です。

水道工事当番店 4月の水道工事当番店です。

工事店名	月 日	4 月	
金井設備商会(株) ☎72-2118 有線 3356	*	7	20
(有)駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373	*	8	21
(有)真田建設 ☎72-2019 有線 5430	*	9	22
石巻設備 ☎73-2021 有線 4454	*	10	23
(有)長崎商店 ☎73-2511 有線 2368	*	11	24
(株)アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333	*	12	25
(有)ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383	*	13	26
山崎設備工業(有) ☎73-2322 有線 4210	1	14	27
(有)信濃空調 ☎72-5706 有線 6249	2	15	28
若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332	3	16	29
イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216	4	17	30
浅間設備(株) ☎72-3938	5	18	*
菅平設備 ☎74-3933	6	*	*
岩淵住設 ☎74-4122	*	19	*

カメラニュースは、町の中の様々な出来事や話題をお届けしています。



## ● 火の用心！カチカチ 表木区で、子どもたちが呼びかけ

3月1日から7日まで行われた春の火災予防運動。その期間中に表木区の自衛消防隊と育成会が、拍子木をたたいて区内巡回を行い、火災予防を呼びかけました。

これは、昨年表木区が、18年無火災章を授章したことから始まり、春と秋の火災予防運動期間中に行っているとか。夜8時に、区を中心に集まった自衛消防隊と育成会の皆さんは「火の用心～」と元気に呼びかけながら、巡回を行っていました。同隊長の徳永正隆さんは、「子どもたちも楽しみにしているようです」と話していました。



## ● 下郷沢活性化組合が 炭焼きや、そば打ちのイベント

下郷沢活性化組合が、2月27日に区民で整備した体験の里山施設を使って、炭焼きや、そば打ち、などのイベントを行いました。

同組合は、区民全員が組合員で、昨年結成。遊休農地を利用してそば作りなどを行ってきました。当日打ったそばは、そのそば粉を利用しての手打ちの温かいそば。

炭焼きは、森林整備も兼ねて周囲の山からナラやケヤキを切り出してから、2日間ほどかけて1回の炭焼きが完了。今シーズンに10回の炭焼きを行うということで、炭焼きをしながらの、会話も楽しみの一つとか。

組合長の佐藤教男さんは、「冬のお祭りという位置づけ。区民が顔を合わせる機会を作っていければと思います」と話していました。



## ● 卒業生との思い出づくり 町内自律学級交歓会

3月1日、町内小中学校の自律学級児童生徒の交歓会が行われました。町内の自律学級の児童生徒は13人。年に5回ほど交歓会を行い、親ばくを深めています。

今回は、ゆきむら夢工房で、最後の思い出づくりにそば打ちを行い、その後、真田中学校で卒業生を送る会が行われました。

卒業生を送る会では、在校生が、一人ずつ、「一緒に遊んでくれてありがとう」など卒業生への作文を読み、卒業生からも交歓会の思い出などの作文が読まれ、思わず涙ぐむ場面も。

自律学級会長の酒井和子教諭は、「お互いに声をかけ合ったり、協力する関係づくりができればと思います」と話していました。



## ● 町内のグループが つる 蔓と花のハーモニー展

3月12日から、17日まで、横尾のギャラリーSa anで、つると花を組み合わせた生け花と、和服リフォームの作品展が行われました。町内の有志9人でつくるこのグループの作品展は今年で3回目。

会場は、竹炭を中心に配して、藤づると、桜などで春の山をイメージした合作など20点ほどの生け

花と、着物をリフォームして作ったドレスや、普段着など40点ほどが展示され華やかな雰囲気。材料のつるも、楽しみを兼ねて、町内の山から採ってきたとか。

代表の小林幸子さん（岡保）は、「近くのお年寄りも来てくれます。身近な所で花を楽しんでもらえればと思います」と話していました。

## ● 平塚らいてうの会が らいてうの家建設計画の説明会

2月27日、女性社会運動家、平塚らいてうの遺志を受け継ぐ活動をするNPO法人平塚らいてうの会（東京）が、町の林業会館で四阿高原に計画中の「らいてうの家」（仮称）の建設内容の説明会を行いました。

今年5月にも着工を目指す「らいてうの家」は、木造平屋建て約115㎡。展示ホール、図書室、

和室などからなり、らいてう関連の資料や書籍を展示。女性解放、自然との共生といったテーマを語り合う場とし、全国から訪れる人と、町民との交流も行う施設。

建設にむけた募金は全国や町内でも行われていて、町内会員でつくる、真田平塚らいてうの会の花岡静枝会長は、「一生懸命寄付を集めています」と話していました。





## 3年間の思い出を胸に 新たな旅立ち 真田中卒業式

式の最後に、卒業生合唱で「旅立ちの日に」を歌う。涙をぬぐう生徒もいる。

「♪悲しいことが、あると  
開く皮の表紙」で始まる「卒業写真」の曲に見送られ、在校生や父母の間を退場していく真田中学校卒業生128人。手には、もらったばかりの卒業証書を持ち、涙で目を赤くした生徒も。

真田中学校49回目の卒業式が行われたのは、3月16日。明るい春の日ざしがさしこむ

体育館で、卒業生は一人ずつ清水有二校長から名前を呼ばれ、卒業証書を授与されました。

卒業生からの答辞では、代表の奥野沙樹さんが、「お父さんお母さんのあふれるばかりの愛情を一滴たりともこぼすことなく受け止め、しっかりと受け継いで生きていきます。そして、3年間ずっと一緒に

歩んできたたくさん仲間。皆と一緒にだったから、こまめで歩いてくることができました。皆と同級生になれたことを、誇りに思い、これからも変わらぬ友情を信じています」と述べました。

最後に卒業生合唱で、「旅立ちの日に」を歌った卒業生は、それぞれの新しい生活へと旅立っていきました。

Town Topics Apr 2005

## 季節の中で

卒業式の取材に行っている、写真を撮りながら、思わず熱いものがこみ上げてきました。やはり、小学校や中学校の卒業式は何年たってもなんとなく記憶に残っているものです。

卒業は、それまでの学校生活が思い出されたり、友だちとの別れなど、一抹の寂しさを感じる瞬間です。そして、その後の新しい生活へ羽ばたけるといふ期待感もあります。4月になると、そんな期待をもった1年生が、またここに並ぶのかなと思いつながら、体育館を後にしました。(なべ)

インターネット情報  
<http://www.sanada.or.jp/>  
<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

### わたしたちの町の人口

11,745人 (- 9)  
男 5,815人 (- 2)  
女 5,930人 (- 7)  
世帯数 3,795戸 (+ 3)  
平成17年3月1日現在 ( )内は前月比